

加  
178  
10



武德鎌倉旧記卷之第十

目錄

- (一) 稲毛三席入道倭奸并義時朝長條言事  
島ム六席重保付死ノアタ
- (二) 鎌倉勢良列登向付島ム重忠軍評定ム
- (三) 武列ニ保川合戰付毛甲ニ席、李澄高名アタ
- (四) 稲毛入道又ス隊ヤクシ付榛谷写席  
重朝又子最期事
- (五) 稲毛入道又ス隊ヤクシ付榛谷写席

(六) 牧乃御方修業房殿行時致組長通世

攀接事

(七) 右房門佐朝政退付付と内の首脳者考

九高名事

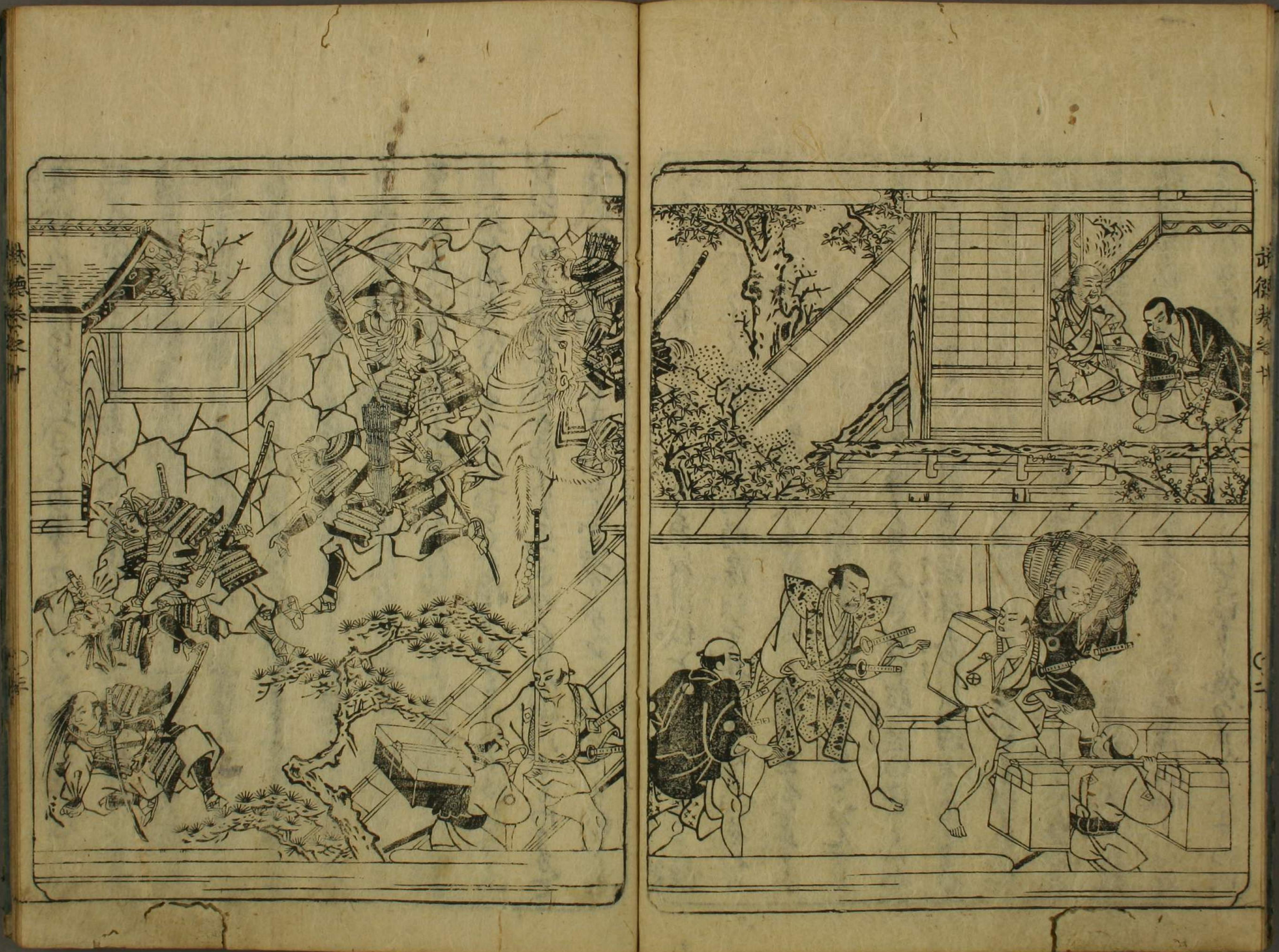
正徳錄倉田記第十之卷

○稿先ニ嘉入道倭奸善義時納長達言事

去程小橋毛ニ嘉主成入道ハ少事處の家ニ至ト。家乃  
ニ嘉主教とばくして引平し。元久二年に月朔日。漁食不  
為。又、財政的長名都豆の事に招き。日来家後。かく  
なり。まうち立漁食の人々に申ひて。財政日はん代金はち  
審代ゆき。おとと集り。鳥山追付の内候の手代を。これ  
よりて漁食中。何と多く物をいして。由家人由。近因より  
集り。若船武具と。ああよねと云ふ。何と生きて居事か  
け。そぞのよひう有もんと。往人経歎と。あやうじて。  
謹動するもやじて。四月三日。和田左兵衛重登信と

而之大は制せいもあわざる程ほど。此焉に案あわせより其よみみを改  
めし。また不と極きわく計候けいと云ふ事ことなく。何とあくたる事ことあるを  
よ。而ゑの事ことと漁金ぎきんに抬あす。もとまつたてて。不ふまつて。是ぜは  
舊利きりとめんとづくとまかう。方ほうより。或あるいはの少すくなき處ところあり。  
麥屋むぎや小保こほ者しゃとがく。也よ。またよひとまひ。是ぜは  
とは差さへて。先さま保ほと門門あせらせて。漁金ぎきんに差さす。是ぜも  
やうて。お立たつて。も。自じ立たつて。お立たつて。月つき六ろく日ひのそとれ。  
すま保ほ漁金ぎきんは。う。と。は。高たかい。の。セ。ろ。も。是ぜは。保ほを。あ  
さ。ん。と。は。改かる。事ことと。か。く。し。き。聖せい白しら婦ふ。お。接つち。義ぎ財ざい。次  
男おとこを。至いた。房ぼうと。接つ。あ。し。極きわし。鳥とりの。ひ。扇おひ。ま。た。是ぜ。漁ぎ業ぎぎょうと  
全ぜんつ。有あ。め。り。な。す。先さま。保ほと。そ。て。已い。天てん下げと。奪だつ。ん。と。の。業ぎょう

接つち。し。行ゆ。股もも。ひ。手て。あ。だ。深ふか伐なと。く。り。て。は。笑わらと。深ふか  
え。と。や。い。い。ふ。と。の。あ。い。義ぎ財ざい。時とき。房ぼう。内うち。を。お。て。手て。あ。だ。行ゆ。め。り  
漁ぎ業ぎぎょう。年とし。改か。る。年とし。改か。る。年とし。改か。る。年とし。改か。る。年とし。改か。る。  
と。そ。て。き。の。を。う。と。く。け。し。よ。う。び。と。れ。翁おきな。翁おきな。其その。大おお。自じ。と。う。ん。ぐ  
と。そ。と。あ。う。と。う。縁えん。と。ち。復か。し。き。う。ご。し。鰐わいわい。鰐わいわい。の。ゆ。と。づ。ふ  
翁おきな。し。ち。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。  
翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。  
翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。  
翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。  
翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。  
翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。  
翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。  
翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。翁おきな。



かくまくとひきりはまきのあらよそじとみうる  
とひきりはまきのあらよそじとみうる  
ありもがほよひとおまをあげてほりすり今ち  
農業がん。ひとおのどりやまくしては。まくらあたはせひに  
せひとよしとぞ。おひき

二  
角

角かくの鶴つる。よひ鳥とりの侏ち離りののす。そでに像ぞうをめざさし。自じとね  
とくびて。塙谷はなわやをあ耐たま。業わざがや。も高たかく。業わざは。そらをあと  
鳥とりの高たかまは。がる。業わざは。ほり。そと。鳥とりのあ。ひ勢ぜいも。おの。風ふ。羽は  
げ。れ。お鳥とり。う。浪なみの。空そらに。か。う。ご。と。そ。と。う。ま。は  
や。ひ。う。ざ。か。う。や。が。た。よ。や。ど。き。お。と。禮れい。を。た。げ。う。や。

おおかみをふくみ。はしむきせとおのまくはんあど。まほよけもそ。  
おおよひまくらう。え材室がうらう。達益たのあらう。なまえん  
とよくもんば。塙谷のま射射射業。一時よるもけめ。海に達と企  
事。ともがくわるふよく。塙谷ま射射射業。がちま射。化く。向乃  
志高行よよてゆる。のびく。本音。ざくびとく。ねいふ射改。改  
つるよ。今ひきぬよびとく。じく。一射してはれとを。さ  
わとと。もあと接て。高ま行く。小なりとす。んぐ。ありす  
扇。おきとよて。まくらう。とせ。我先よとやく。し。ぐりまつる  
歌。歌と遼。かへ。せひき。じけ。うけ入て。ひけ。うけもと。うけり。  
あいがくと。もじ。わ。まくと。じろ。まく。まくと。とれ  
まくと。と。あ。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

追う。切。あくまで。ちんぐり返る。強。あくまで。ましく。すこし。  
地。やさ。地。傍。今。お。ま。深。ヤシ。ト。お。か。の。向。先。毒。く。ま。あ。と。ま。  
す。ん。で。洋。う。

接とくま。先のまかう。家あへ。運金あへ。送物のあゆひ。娘子  
とおやまは。宅へ。ゆひの後よし。そばにきて。まほうる所  
ゆひ。宿ふわづ。今里。宿ひ。宿のあひ方と。鳥の巣と。ア  
えまは。宅地の面積。二段と。三段と。ゆ。運金。送物。  
大抵またある。拂とくれ。ゆは。ひは。代よりをいは。是れ  
の事。方。運金。の内。拂ひ。送り。は。のうち。あ。運金。志。モ  
三種。金。勢。勢。拂ひ。送り。は。島。と。まか。軍。運。宣。す  
すぞ。じ。も。あ。り。あ。け。ね。せ。一。方。の。か。れ。島。と。の。ひ。あ。ま。か。な。玉。武。も。

三種金物を引継ぎ付島の軍隊に之を

夷國より通金の事とぞゆふを内へ。まちの内政が改  
次ともおれ、下そはどの事とぞゆふ。まちの内政が改  
め候る事何時也。先ほひ萬葉の事候はまほほへて至り  
く候。甥の平次も萬葉候事も。帝流が汝男大須が、又流候事  
國公も萬葉流也。甥わらひ萬葉流也。曰く東の萬葉も萬葉也。又  
是利も萬葉也。小山万葉の事也。今才也。又萬葉也。曰く萬葉也  
七郎也。又萬葉の事也。今才也。又萬葉也。又萬葉也。又萬葉也。  
三郎也。安主も萬葉の事也。又萬葉也。又萬葉也。又萬葉也。又萬葉也。  
右馬の尉が長門へ前田を萬葉の尉を委す。右馬の  
左馬の尉が長門へ前田を萬葉の尉を委す。右馬の  
左馬の尉が長門へ前田を萬葉の尉を委す。右馬の  
左馬の尉が長門へ前田を萬葉の尉を委す。右馬の

下の道を司ひす。小れちを島秀通。源氏のまよふ。老をあ士郎。左  
足利。湖西。春日移。小栗。唐河。様。兜。今より。村と堂と始。主勢  
あげて。ひそかに。おとし。戸の方へ。源氏の本家。やまあら西附房。  
宿をあ。尉。兵。と。大わくと。そゆふ。主。宿全の事。教と。書  
て。ひそかに。山中。に。向。後。と。うかと。い。登。船。内側。と。か。はる。  
を。わ。の。あ。た。又。宿。の。ま。げ。う。と。た。り。け。よ。向。宿。の。入。と。岩  
の。岩。後。た。脇。を。底。え。よ。匂。首。朱。雀。院。の。山。守。い。わ。う。乃  
お。門。達。公。と。卷。を。ま。い。お。じ。ゆ。も。そ。も。ね。日。け。行。經。と。て。そ  
う。と。ひ。今。帝。教。よ。や。あ。そ。れ。ゆ。角。か。わ。う。固。園。の。ま。く。直。  
とも。あ。あ。の。ま。い。ひ。ま。ひ。こ。ひ。土。の。口。と。ち。づ。く。祕。そ。麻。と。事。  
て。そ。う。や。と。ん。や。ま。あ。う。や。と。ま。う。の。事。と。く。う。ご。と。起。う。な。

ひ。と。む。琴。音。の。生。と。あ。と。き。ほ。よ。ひ。と。と。や。と。う。ん。ば。度。え。  
感。ふ。と。あ。も。感。ぬ。お。だ。い。と。う。れ。い。は。故。り。そ。い。口。と。わ。ま。み。の  
ゆ。あ。よ。は。し。ひ。ほ。百。の。勇。士。と。石。築。ら。う。は。老。と。ゆ。古。と。ま。に  
て。富。と。そ。ち。う。け。と。經。け。よ。の。男。や。底。の。と。く。ひ。ゆ。と。ど  
て。家。の。紋。あ。る。無。と。と。仰。よ。じ。う。が。つ。と。身。伍。と。ま。り。と  
押。あ。る。と。も。弱。い。富。と。需。と。う。て。難。し。ま。る。の。年。れ。れ。わ。と。ぬ  
ち。も。或。毛。の。ふ。二。侯。川。ア。と。富。と。よ。め。令。き。う。ま。立。今。壁。よ  
絆。子。の。六。扇。と。ま。保。は。付。よ。の。あ。お。向。と。あ。る。よ。と。を。す。  
二。侯。ア。扇。う。お。れ。幕。よ。謹。と。を。あ。の。よ。本。の。ひ。扇。と。あ。様。  
ひ。古。扇。清。と。と。は。ば。交。扇。子。の。ま。保。む。と。あ。あ。ち。妙。と。  
口。扇。と。や。と。は。ま。つ。う。ね。の。數。す。と。く。お。段。ね。の。四。方。ひ。つ。あ。そ。

我と子と。後づきもあれば。さばく。十九  
日。小食の御飯をとひ。今は空ふ。おまけに  
手。それより。がざるふせ。まと。今朝も野。立原  
はま。向かひ。まよへ。奥列さく。左往さわ。と。わ行わゆ。へ。老おそへ。  
二男ふたこ。ひひ。まめ。あ。の。す。あ。よ。へ。ゆ。あ。人。を。つ。ご。り。僅きん。百。辛  
羅ら。の。な。ち。今。晚。ま。深。生。を。て。付。き。ゆ。ほ。然。仰。ゆ。よ。一。令  
そ。べ。情。く。ま。今。自。ら。の。令。ご。と。と。ひ。我。と。た。い。す。れ。せ。よ。お。む  
す。ん。ひ。ま。く。そ。よ。あ。れ。が。、。と。と。が。田。様。ほ。け。と。お。け。と。と  
矣。一。先。か。房。と。今。ま。や。れ。き。う。と。ひ。て。ゆ。ふ。う。と。起。と。中  
ひ。き。き。う。と。あ。う。お。は。と。の。房。に。方。涉。と。う。す。と。あ。じ。い。  
ま。方。ひ。う。お。方。涉。の。左。房。と。ま。方。の。方。涉。と。あ。つ。と。と。い。

物の事す。舟を出でまし。一先りうて、東宮の御所補給をき。い  
直すにてと書きとめぐれり。そとモ内被りんす。まくは  
り。も内にあとのぬがとりしけ。もみやふ一筋てほひます。お  
どりとくら。まわゆのらとおそ。もはちうべくはあとあれ。あ  
トさをりとくい。お家ものももとよ。ま保す。そへうへしやうとひがく  
ひくとてもねうやん。まやうとくのはねゑ年と事の居候。一見  
きのよとも途中にてはせじ。よをもがくの令と。持つふゆくえ  
ぐゑじ。我よりかうりくさへ。さあうあよとくとくはくがふ  
ぐまわるき。さんまと。車を。源氏の今を。いゆる。お車の  
今を。うとうて。ほ車の。いゆる。おうおひ。おとぎ。おと  
おせ。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。



おまへとおそれをすの事よあらじと。ふまたい勢よばれすすり  
の考たれく多びひづりふて。一場ふるのゆきがまく霜ひづり  
⑫ 武列二條川合戰付毛甲三郎毛羅もあふ事  
去將よ詠味方わと付てどれとづくもとより相相え非に相え  
ひしき下の令惣も源よも徹やあめんと歎く。うちの物我  
もくと。生はを乞食。あたと御市中に安生。あつて射箭邊の弓馬  
ふれの弓馬。が地の弓馬。飽るのを。射箭邊の弓馬。  
ちを次以下。ぬとむし剣の考たれ。おなたれいもとくへりの弓馬  
そとくまで。一陣よ無事。鳥のまあそとくへり。ひき邊へばがら  
ものあふと。身ひてそとくされしひじのまじ。君令とまく  
つぶはれ。身年のみとつとれ。一はすまし。え能弓馬

あまのぞうと感せらん。まわらひして。一令とひぐれ。一戰  
を並べと下かされば。長いく。少次高ま矣。主平とあづけ  
ゆ。と勢ひ魏く漂漂として。冬初の日。すわらじよまもど。  
欲も無すも。あひよみはらうら義とせむびて。さきまわとひ便  
了。少からずに敵であら。ひとより心哉の切さな。わざぐてもや  
ざれば。妻をぐるみてみゆ。あはあててとひふ。そくとて。萬もの  
參軍尉はま。ハ田左衛尉をま。今子中衆をま。尉をま。前回り  
卒を左尉をま。妻をおま。妻をおまつでけやくと。廣和が  
ひづちをとどめ。高達のごくにとひ。勤くす。右田様次へこれとく。  
それ一般のやく。單碑の志。四まもあじて。とひとくす。  
今やかのく。舊代。其妻のえひかと。ばまとぬう報づべき。曉の事。

きくよままで。ちかひて。てん徑くわやく。富士と。とを若狭  
まほじと。主平といそらそとけ。もとちひ。すらも漢の口能との。  
湯武のに義もあじて。とれ。あひも。なすれ。かたひて。是の孫  
みづ船。いづみと。いづまうれ。いづみ。とひと。虎輪。ト  
うぬ。偏門。かうり。ニ。鼎小打。じよれ。かひ。すま。あ。右田様。ゆ。  
歎のみ。船と。こくひ。船と。面ハ行。い。船と。歎と。行は。小のうそ。  
五ニ。せ。三。戦。バ。行。の。ま。ひ。れ。と。あ。て。と。近。く。と。れ。あ。房。漢。く。  
アレ。ば。足。利。と。高。ま。矣。小。と。高。の。尉。歎。今。子。中。衆。み。尉。歎。何。く。  
絶。後。七。尉。歎。え。浦。參。軍。尉。を。今。子。中。衆。九。尉。流。も。宇。舟。又。江。す  
れ。船。ふ。へ。ち。て。表。歎。ふ。ま。た。え。と。と。て。歎。り。ま。ひ。い。う。り。ア。リ。等。  
付。と。か。で。け。や。と。と。主。平。と。伝。じ。く。よ。の。旗。と。ま。た。ひ。と。と。て。

歌のまちやひうけ入相をそひともす。あ用肩つお我シテ。が勢  
よれ。雷ツカ。はくらて先とねら。あく。尾の牙ハサミ。をとく。  
よあづび。と。し。あい。あきひの身カラ。はく。老ねと。あく。血クモリ。ひ跡  
ほみ。流フミ。て。糸ス。の波ハ。をみ。さ。や。ひ。ひ。り。つ。や。う。と。く。休ま。て。ま。よ  
一。堆ヒ。の。ふ。と。さ。づ。ま。う。に。と。あ。び。ほ。ま。く。の。じ。る。も。や。而。三十。年。経  
の。あ。た。も。と。ま。わ。た。や。う。ど。も。大。わ。ま。太。い。ま。ま。す。も。負。ど。つ。分  
八。戦。わ。ん。と。そ。う。つ。て。戦。ハ。お。す。る。身。ち。め。と。い。た。洋。歌。よ。せ。り  
ゆ。く。と。戦。い。く。け。て。み。こ。う。や。も。甲。三。扇。季。満。と。て。精。兵。の  
も。見。有。け。ら。ま。え。い。ふ。大。洋。の。勇。士。ゆ。す。セ。よ。け。あ。る。矢。内  
立。わ。る。身。か。ま。ド。ま。と。そ。も。く。と。も。三。ぐ。う。の。あ。げ。ど。く。  
け。く。ふ。ナ。ニ。深。こ。う。お。き。う。大。え。と。わ。く。づ。ひ。あ。り。く。か。め。と  
の。う。ど。ね。つ。や。う。え。う。だ。と。あ。づ。べ。と。う。と。紹。く。ば。し。  
る。甲。の。洋。付。の。板。ト。美。そ。く。対。應。ト。う。づ。り。の。ま。む。き。  
玉。ひ。よ。う。眼。よ。血。入。て。け。く。ま。き。い。ざ。れ。ば。ち。あ。と。ら。す。く。つ。み。  
す。く。ま。き。ア。ホ。と。ま。隠。か。と。と。づ。い。と。か。げ。捨。て。き。ま。じ。す。と。く。ミ。  
や。う。と。押。さ。首。ま。き。と。と。し。あ。方。の。切。そ。ん。さ。う。つ。ね。さ。鬼。神。も  
よ。び。れ。つ。島。山。波。扇。季。満。と。毛。甲。れ。毛。扇。季。満。わ。れ。う。と。名  
を。そ。て。ほ。び。い。と。じ。と。詔。す。わ。と。れ。き。う。れ。ま。あ。今。年。四。千。二。九。  
後。者。の。ち。み。に。う。つ。て。が。び。と。或。引。二。股。よ。う。と。と。と。た。わ。まれ  
い。ふ。く。あ。て。ふ。載。み。そ。付。く。る。波。男。小。ひ。扇。季。満。あ。車。圓。の。ひ。扇  
近。者。の。様。波。扇。季。満。成。満。ふ。今。い。例。と。う。形。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
お。殿。す。ま。ま。ハ。江。戸。を。扇。季。満。と。お。び。が。絶。滅。ひ。ー。う。た。が。い。ア

あかとひつまとおじまと組でまうびわいふか戸を下し如がく  
金車をかねば。めぐるに二刀抜きてほり。すまうが前といく  
小笠山今年せうえ。父兄一場のまよせて。夜には代の神の御子と號  
け。お園は高遠寺へ。北清高家を奉事と組で。お邊てふきと櫻の  
宮廟へ行方。高見は望み。金の考たも。我らと切まりて。花を  
おいておれど。今年の別。申れ。下別。乃び。只この御事。  
歌は方詠。とおれど。あは。お稀。合戰。けられ。大難事。お  
東お援。ちよ附れ。おれ。から。おれをとりがとう。おもと。ゆくと。  
漁食よ。序。ほー。うひうり

（ス）稿も入た文子は。殊々。椿谷。高文。よねは本

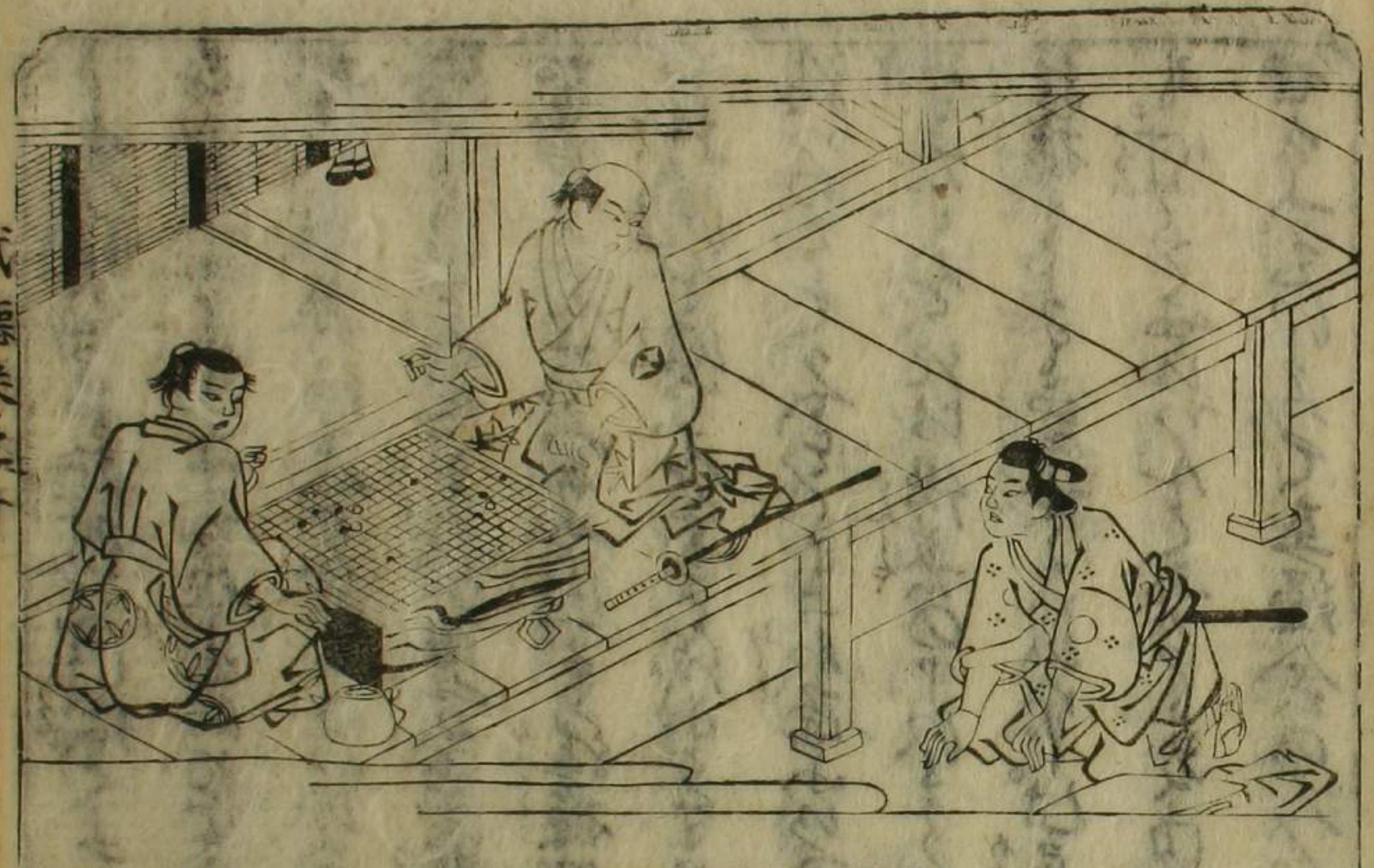
まちよ。のを。到着。うきい。合戰。のすと。ひき。お内。ゆり。ひき  
まち。が。お。せ。那。こ。高。ま。清。因。く。お。高。ま。ふ。と。始。一族。お。や。く。い。て  
他。ま。よ。み。き。は。い。と。く。り。く。る。合。戰。の。用。お。あ。ろ。い。い。う。つ。と。そ  
え。と。お。勢。よ。づ。る。石。保。清。て。い。き。せ。ば。ほ。教。と。ね。ゆ。く。み。よ。ま。い。  
お。て。ほ。と。ぞ。い。と。清。志。の。下。掠。よ。う。て。石。保。の。意。を。ひ。よ  
そ。そ。が。ん。が。う。不。ほ。の。お。い。は。明。ま。る。え。す。う。房。と。ら。お。そ。は。が。彼。面  
ま。う。と。と。ひ。か。年。は。面。会。も。く。か。れ。ひ。じ。て。と。お。の。ふ。ひ。と。う。い  
べ。お。れ。が。づ。く。う。た。お。を。結。つ。し。ぶ。の。や。と。柳。く。う。と。燃。焚。の。済  
け。お。禁。す。ご。く。ふ。と。て。お。が。く。済。す。の。済。焚。わ。る。今。又。や。せ。い。  
見。精。と。ゆ。く。わ。を。の。あり。と。面。ば。あ。き。と。く。ま。く。ま。じ。と。定。達。安。太。も。

尉祐彦曰く。かねて島有總。大河戸にて船おとおさづふやく。す  
ひだま太罪をして候やれど。毛利は船も三船を以て入が。行  
ゆりよ起て船の方へ渡。也。かくすやぬばひだの筋動。ハ  
まかへたま車といひづべ。天下とれんとすら無人されば。縄  
執の経とし船も又子見の老夫と付て。はく風とひまじづ。はく  
島ふう一族。アラウルのうち。おちづくとつぱまく。もく仰ぐり。そ  
ぞびやふやんと。もく若參いなん。船も又奉り。室の経峰。谷  
小柳あら。船も三船入が。島ふくわき。ばれ。四方のけづひ。そ  
ひだの是事。小。また。六千。も。おほり。とすと  
と。壁に。目くじせて。お。よ。ら。い。も。お。じ。ぎ。ま。よ。う。と。押あきん。そよ  
やくらき。す。だ。こ。ひ。ふ。や。ん。と。岡。若。と。嬢。す。小。波。の。小。波。船。ま。政。ひ。つ  
ち。そ。切。て。れ。あ。の。う。船。お。な。も。押。海。で。わ。て。お。室。と。さ。と。然。る  
お。ち。の。老。夫。い。ま。よ。と。ん。で。か。そ。て。切。立。賣。経。しほ。船。も。ご。船。お。な。も。  
め。か。く。付。ま。ね。お。ひ。船。ま。政。い。室。佐。兵。の。う。船。と。も。ひ。け。ぶ。た。り  
肩。さ。な。り。じ。あ。い。ま。ぞ。切。こ。も。れ。の。う。ま。ア。ソ。ク。ア。ハ。ク。ア。シ。ア。キ  
よ。う。押。て。首。と。が。き。あ。と。よ。の。道。ま。水。ハ。船。も。余。と。捨。よ。飯。海  
か。櫻。今。船。ま。船。が。富。あ。ハ。船。も。が。宅。の。路。か。け。ア。本。そ。ひ。ま。村。が  
金。オ。ア。船。流。を。押。す。そ。一。島。よ。賣。立。ふ。意。お。も。う。お。あ。そ。ま  
す。お。船。ま。ま。次。男。ひ。船。あ。も。く。自。業。自。い。果。う。そ。の。が。と。あ。ん。と。船  
す。今。と。沿。り。と。海。ひ。船。す。の。お。船。ま。ま。款。と。經。て。付。じ。う。ハ。

リド。里人のまか（あやめ）あすかにて。道師が入る。まゆのじき  
スホウ。谷（バ）とひら谷（ハ）と。別（べつ）が入る。アラヤリ。わからぬ。痛も。標古  
リホウ。が。宿（ヤツ）。ひ。道師（ダウシ）が。谷（ハ）のゆ（ミ）を。う。船（ボウ）。リカ。里（リカ）も。原（ハラ）。

室ひきとひのち。財政のわれ方。物の四方へ。まことのまへ。鬼と一家  
をも。そよが風。あふ場所。てばはくまくわまむ事。わゆる事。長久  
あり。年と。定めの年。おもぢや。御歳と。ミト。れまこと。わざと。れ  
ぎ。好様。を。わくしまよ。河取。いぬの。西方。の。き。くま。ひ。け。年。も  
うの。よ。あかりん。て。く。せ。や。く。れ。う。び。と。く。ふ。向。き。し。御歳。と。強  
金。わ。まと。多付。御月。天。下。と。答。銀。一。だ。く。宗。織。と。そ。織。か

及やさんとどもあむれなる。御市内室七月十八日。御事あるを知る  
よりは済事へまじりて由はぬ事ぢて極めぬ事をわす。其のあの方へ  
そぞろのあそびかるとて、おじやふ實物相たゞ毒害一をも。  
それに先ひまよせんと。ゆくはとけりこそやうやけと。暨十  
九日尼山<sup>あま</sup>に登る。にしてはまどかとまきまきしらず。大よやうと  
ろし。お宿み扁らうぬ。今方結婚七郎納ま。三浦平六<sup>さ</sup>を副尉<sup>そく</sup>候  
内く内扇<sup>ね</sup>流衣。天那<sup>あま</sup>をあ政主<sup>おほ</sup>成<sup>なつ</sup>れ。まくね事あと  
お接ち。美<sup>うつく</sup>いの小阿内<sup>おの</sup>富士へじくへまきまきし。山<sup>さん</sup>内く  
涼<sup>すず</sup>川<sup>かわ</sup>。牧の山方へ。日はのぼりおま<sup>ま</sup>すぬ。おひせ<sup>おひせ</sup>の旅<sup>た</sup>で  
アヤ。こゝのふやんと。おどもれれひづだ。わづてり。まえうひづ。内改  
わたり。おひのかひまきし。今ハづきの上<sup>じ</sup>に本<sup>もと</sup>からと。大に因<sup>いん</sup>



あしのたと記村と。にはくと。尼山喜の正方宿と。浦湯  
を廻る。やまと心はられ。あれねまめのねどくと。天下の旅人等  
がまやひよ。何ゆくもうかふれひそ。ゆくねまみけの國。ほ  
ひよりひいわ。能の里方。モ。麻もふやうきし。ねまみと。生の  
まんと。おとみうよ。そ。結様ゆすはざ。や。び。うかと。校  
あ。流を渡て。そ。まくはふごと。よ。ら。天令の程。と。おそれ  
活りぬそ。う。と。ども。不。面。ふ。り。院。と。放。太。お。あ。れ。宿。島。の  
ま。あ。と。そ。に。は。後。基。の。下。ま。う。せ。義。う。た。よ。珠。せ。れ。い。ば。じ。ま。れ  
詰。接。も。と。重。巡。よ。ハ。レ。ド。じ。尼。が。り。ん。経。い。少。す。因。セ。れ。な  
リ。臂。く。や。ひ。つ。と。が。ぐ。お。か。き。そ。と。お。も。し。そ。ち。あ。と。五。さ  
さ。う。毛。ひ。う。て。互。通。余。の。ぐ。へ。いた。ま。び。う。熟。熟。に。互。集。

喜。れ。う。ま。も。秋。し。く。小。町。の。草。れ。北。あ。う。ね。ま。み。と。ち。續。し。年  
せ。う。れ。し。は。政。朝。は。廣。沢。左。射。更。も。と。て。舞。と。流。ド。の。ひ。り  
ど。も。ね。ま。み。の。中。は。見。い。互。通。射。だ。と。笑。て。わ。う。り。う。少。め。に。波。  
教。え。ふ。セ。き。ひ。ね。と。ば。美。財。射。だ。に。せ。波。ゆ。セ。き。ひ。波。通。か。波  
し。て。を。出。下。向。わ。る。海。よ。松。よ。ま。入。ら。セ。き。ひ。ま。ま。と。内。替  
す。と。出。や。ま。う。う。べ。政。朝。射。だ。今。へ。カ。な。じ。ひ。つ。ど。縛。を。し  
小。臺。か。く。と。と。お。の。坐。射。ぐ。ら。ふ。俄。よ。ひ。う。と。や。く。こ。セ。き。ま。云  
ひ。の。活。業。四。年。を。ひ。て。ね。ま。み。三。代。の。執。持。と。て。波。よ。せ。六。年  
に。ひ。れ。今。年。六。年。八。方。と。ぞ。ま。え。と。同。年。を。生。ま。入。る。す。年  
ゆ。び。と。と。ま。づ。う。び。聖。白。の。辰。乃。射。本。手。作。豆。の。や。ま。ひ。下。向  
き。し。と。仕。ち。繕。射。本。月。日。と。と。う。き。と。自。ね。接。ち。義。射。射。

やうそれ様あくとあつてひむ室吏納れど情けりまうひう

⑦右主使候内政追付付前首領もうち久事

角て義河内長ひ大統主支度え。ちま属入乃若役。安室のち馬射

主坐坐主と小町の亭子にて集。手がたまに候内政。内政

けりうまくそ。がのまくねまともすまく。おもとみよ達をあ。

えき候代をくりびとそ。は老とわく候も。主家のゆゑんによ

み。内政と候どぞまじひもふトかとく。同士も首の者。候代

都へよろで。主家のゆゑんとあ。めじやうふるのうと。も解り。主

屋日。主の仇内政。うほりとく。主のゆゑんとあ。内政のゆゑんと。

園基のゆゑんと。ば。出事と同代ア。あよ。清中候。すんわさは

びく。あ生お祭具とわて。まあと走る。こひやうゆう有りんと。

候人せうとあい。び度内政。漫屋の企わく。うち漫金石れど知

うて。主家のゆゑんと。けり。ゆうかりと。されひひあひと。ひうけと。ども。

あく。ひよら。ひそか。あわね。内政が小倉入主。大い。あき。

あき。主のゆゑんと。あ。主のゆゑんと。内政と呼

せ。ば。と。めくと。きら。内政ひかり。や。も。う。う。か。と。り。く。く。く。く。

の。あ。よ。ゆ。あ。う。基。と。と。と。と。内。政。て。同。基。ま。と。能。は。候。く。な。

候。人。お。り。様。ひ。う。と。室。東。ち。内。政。と。候。代。す。と。そ。ち。候。内。

う。う。う。う。今。内。代。の。う。う。と。下。あ。う。う。と。奏。事。と。か。う。て。五。事。と。返。あ

し。六。角。車。廻。度。の。宣。下。は。そ。う。と。と。け。う。が。う。あ。う。主。東。の。ゆ。ゑ。人。

主。業。の。判。友。有。範。は。主。左。射。基。は。仰。主。左。射。度。總。因。孫。主。

ちよま。序。左の尉擊は。あらかじめ率して撃る。敵が而來ても。宣  
とあきお戰ふ。考ひたる所されば。やもさうけり。で。賣人を。日本三島。かく  
み島。大切と見て。追ゆ。と。追ゆ。と。追ゆ。と。追ゆ。せば。却へば。押す。七八度。うねり  
うねり。射。うねり。また。もねり。付記と。射。敵今へけ。而。一。之。底て  
あや。と。あひ。一。往。あか。と。あた。と。十。説。け。寶。一。撃。ひ。と。底。と。行。あす  
の。方。の。角。を。う。じ。へ。を。く。ま。う。殺。よ。射。敵。の。島。あ。た。と。底。く。打。ほ。う。撃。へ  
射。敵。は。あ。ろ。と。ま。う。ぞ。追。ひ。と。お。れ。と。軍。勢。大。十。方。い。よ。と。こ。う。と  
そ。追。無。け。と。殺。よ。射。敵。は。祭。あ。れ。と。祭。あ。れ。と。底。本。軍。  
射。敵。底。へ。と。念。ひ。射。あ。は。り。び。ゆ。と。ま。う。も。追。無。て。付。ま。う。と。  
軍。令。す。ち。と。率。ひ。射。列。と。追。て。ひ。体。ち。の。ま。殺。刑。と。重。往。う。六。男。  
六。名。通。墨。け。射。ひ。ま。幼。か。と。射。死。れ。と。墨。け。く。わ。と。本。が。よ。射。加。う。

今朝の吉宗統底。ゆも。ほくお加て追兵。うち。射。敵。大尉の。人。き。れ。へ  
を。せ。し。く。を。ま。事。あ。と。あ。ひ。次。よ。射。敵。と。底。あ。れ。る。と。前。お。あ。九。  
九。あ。と。ひ。た。力。せ。ひ。え。と。り。け。ぶ。逃。ぐ。と。追。兵。て。や。う。と。あ。ざ。せ。う  
れ。逃。の。中。ゆ。か。て。と。だ。る。矢。と。ひ。あ。う。て。け。と。か。る。と。矢。を。ち。れ。の  
首。骨。と。射。せ。と。ひ。れ。敵。と。ひ。じ。る。と。追。ひ。而。と。底。と。行。と。撃。と  
そ。と。う。き。あ。と。あ。あ。た。と。只。と。底。と。追。ひ。と。お。る。と。れ。う。と。底。と  
あ。あ。い。れ。み。と。あ。あ。れ。と。か。か。と。射。敵。日。は。ひ。ち。く。と。底。が。と。底。と。底。  
底。と。底。と。底。あ。あ。き。と。ひ。と。底。と。車。る。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。  
底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。  
底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。  
の。の。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。と。底。

